

# 健康通信

<第2学年版>

名古屋市立滝ノ水中学校

保健室

## 薬物乱用防止教室

9月9日(水) 5、6時間目に総合的な学習の時間で、「薬物乱用防止」についての学習をしました。講師には学校薬剤師の樋口先生に来ていただき、専門家の立場からお話をいただきました。

自分には全く関係ないと思っていた人も、意外なところから薬物にはまっていってしまうことを知ることができたと思います。「薬物は絶対にダメ!」という意志をしっかりと持ち、自分の心と身体を大切にしてください。



### ☆スライドの内容の一部

**脱法ハーブ → 危険ドラッグ**

◆危険な薬物なのに…

- 法律にひっかからないから大丈夫
- “ハーブ”という言葉

◆安易な気持ちから手を出してしまい…

- 薬物依存
- 犯罪
- 交通死亡事故

} 深刻な社会問題

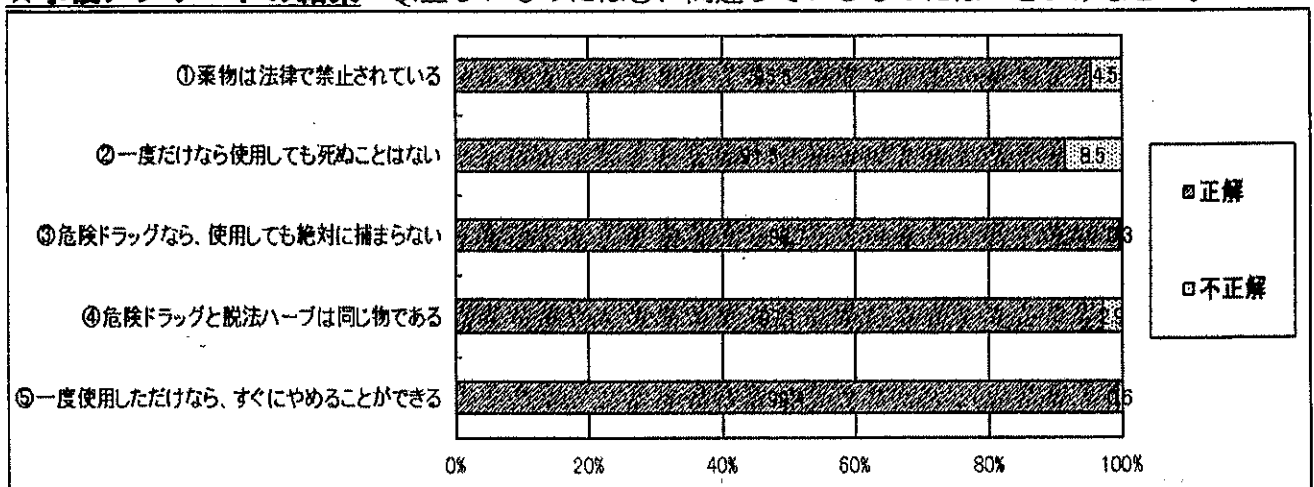


### ☆薬物に手を出さないために

- ① きっぱりと「いやだ!」と言うこと。
- ② 誘われるような危険な場所に近づかないこと。
- ③ 危険を感じたら、その場からすぐに立ち去ること。



### ☆事後アンケートの結果 Q.正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。



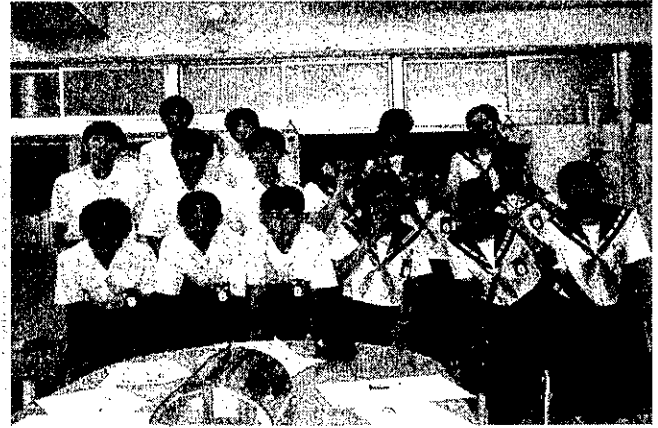
☆ロールプレイングの様子 (薬物を誘われてしまう危険な場面と断り方)



☆講師 学校薬剤師の樋口先生



☆準備から司会進行を務めてくれた保健委員



☆感想

- ・ 一回使用しただけで、自分の未来が崩れてしまうので、本当に危険なものだと感じた。
- ・ 脱法ハーブのことは知っていたが、医薬品の飲み過ぎでも薬物乱用になるのは知らなかった。
- ・ 薬物を使用したら、自分ではなく周りの家族が悲しむから、絶対使用したくない。
- ・ どんな人に誘われても、断ることができる勇気を持つと思った。
- ・ 今でも薬物による死亡がたくさんあるので、そんなことは絶対あってはいけないと思う。
- ・ 誰が持っているか分からない。だから、恐ろしいのだと思った。
- ・ 吸ってしまったその時から人生は終わっている。吸ってしまえば、さらに孤独になり苦しむ。どんなに嫌なことがあっても、やりたくないと思った。
- ・ 今までには自分には関係のないことだと思っていたが、危険は身近にあるということを知った。
- ・ 一回だけならという考えが、ビデオによって完全になくなった。
- ・ 薬物は、脳、臓器を狂わせるだけでなく、自分の人生を狂わせることが分かった。
- ・ 危険なことを判断できる力をもっとつけるべきだと思った。
- ・ 危険ドラッグを使っても、一回だけならどうにかなると思っていたけど、そうではないことが分かった。少しだけと置いていても、その少しが大きなことにつながるということが分かった。

「正しい知識」と「キツバリと断る勇気」が大切！

今の世の中は、さまざまな情報をインターネット等でいち早く得ることができます。しかし、何が正しい情報なのか自分の判断では決められないこともあります。今回、薬剤師の先生や保健委員から聞いた話を忘れずに、自分の身体は自分でしっかりと守っていきましょう。そして、どんな時も毅然とした態度で向き合えるように「誘惑に負けない、強い精神」を養っていきましょう。

